

京都府立工業高校 英語 CAN-DO リスト

京都府立工業高等学校

学年	CEFR (目安)	聞くこと (Listening)	読むこと (Reading)	話すこと (Speaking)		書くこと (Writing)
				やり取り (Interaction)	発表 (Production)	
第3学年	B1	①ナチュラルスピードで話される英文の内容を正しく理解できる。 (例 教科書の音声教材) ②簡単なアナウンスや道案内を、理解できる。	①英文全体の論理展開を意識して読むことができる。	やり取り (Interaction) 与えられたテーマについて、賛成・反対の立場で、論理的に自分の意見を述べることができる。	発表 (Production) 社会的な話題について、自分の考えを理由と具体例とともに、聞き手を意識しながら発表し、その内容についての質問に答えることができる。	①社会的な話題について、自分の考えを理由と具体例とともに、論理的かつ具体例を用いて書くことができる。 ②教科書本文などについて、各パートの大筋や要点をまとめ、さらにそれについて自分の意見を書くことができる。
		①ナチュラルスピードで話される英文の概要を理解できる。 (例 教科書の音声教材) ②図や表についての簡単な説明を聞いて、その内容を理解ができる	①英文の複数の段落ごとの流れをつかみながら読むことができる。	興味ある話題について自分の意見を述べたり、他者に意見を促したりすることができる。	社会的な話題について、自分の考えを理由と具体例とともに、聞き手を意識しながら発表することができる。	①社会的な話題について、自分の考えを論理的に書くことができる。 ②教科書本文などについて、各パートの大筋や要点をまとめて書くことができる。
第2学年	A2	①ゆっくり話される英文の要点を理解できる。 ②日常生活の身近な話題に関する話を聞いて、その内容を理解することができる。	①読んだ内容について、各段落の要点を把握することができる。 ②指示語 (it, this, that など) が指す内容を理解することができる。	日常生活の身近なことを Wh-question で質問した後、相手の発言を再確認することができる。	自分のことや身近なことについて、聞き手を意識しながら発表することができる。	①日常生活の身近な話題について自分の意見を表現できる。 ②教科書本文の各段落の要点を1~2文程度で書くことができる。
		①ゆっくり話されれば、日常生活の身近な話題に関する話を聞いて、その概要を理解できる。 (例 学校、週末の話など) ②日常生活の身近なことについて Wh-question を理解できる。	①主語・動詞・修飾語を見分けて、教科書の各文にスラッシュを入れて、一文全体の意味を理解し、英語らしいリズムやイントネーションを意識して音読できる。 ②読んだ内容についての Wh-question の答えを本文中から見つけ出すことができる。	日常生活の身近なことを簡単な Wh-question で質問や返答ができる。	日常生活の身近なことについて、述べることができる(例 自己紹介)	①文と文を接続詞 (and, but, because など) を用いて、つなげることができる。 ②教科書の本文についての Wh-question に主語+動詞を用いて答えることができる。
第1学年	A1	①クラスルームイングリッシュを聞いて、行動できる。 (例 Open your textbook.) ②日常生活の身近なことについて Yes / No question を理解できる。(好きかどうかなど)	①スラッシュで区切られたフレーズごとの意味が分かる。 ②読んだ内容についての True or False Question に答えることができる。 【音読】 読んだ内容を理解した上で、スラッシュを意識して音読できる。	日常生活の身近なことについて Yes / No question で質問や返答ができる。		①短い文であれば、英語の語順(主語+動詞)で書ける。 (例 I play tennis every day.)
		①日常生活の身近な単語や挨拶を聞いて、その意味を理解できる。 (例 dog / eat / Good morning)	①日常生活の身近な単語 (dog / eat / happy など) を理解し、発音できる。	日常的な簡単なあいさつができる。(例 Good morning. Thank you. など)		①日常生活の身近な単語を書ける。(例 dog / eat)